



武蔵野市議会議員
 つかきみの

第21号

深田貴美子

《いっぽいっほ通信》

なんでもご相談ください! 090-8025-4457



もう一度「さすが武蔵野」と言わせたい!

吉祥寺、三鷹、武蔵境

すべての人に「それぞれの武蔵野の風景」があり、それぞれが大切にしている「13のまち」があります。

みんなで力を出し合い、汗をかいて、時には議論をし、そして譲り合って、

「リーディングシティ武蔵野」を創りあげてきました。

上下水道をはじめとした都市基盤整備の老朽化、少子高齢化社会でのコミュニティのあり方、

人口減少社会でも持続可能な財政基盤の確立等—武蔵野は今、とても大切な時期にさしかかっています。

市民とともに、汗をかき、成果の出せる魂のある職員の育成と、子どもたちや次の世代のために、

この「武蔵野」で一緒にみなさんとのご縁に感謝して、共に武蔵野の未来を切り拓いていきたいと思ひます。

もう一度—「さすが武蔵野」と言わせたい。

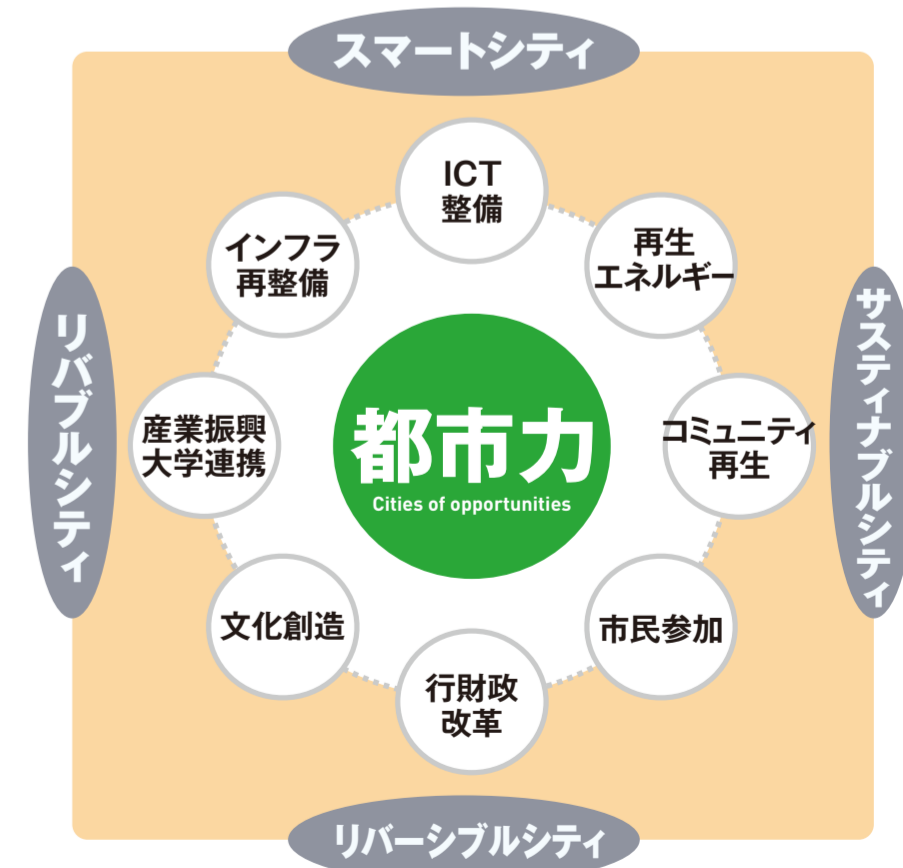
武蔵野市議会議員 深田 貴美子

目指せ!「健《幸》長寿社会」!

スマートウェルネスシティ

政策提言

- 「地域リハビリテーション」の推進
- 「小規模多機能型デイ・サービス」や歩いて行かれる「居場所」の増設・拠点の確保
- 福祉でまちを創る—「共に助け合うコミュニティ政策」の見直し
- 家族で介護にあたる方々をしっかり支える「バックサポート体制」の確立
- おひとり暮らしの方のために「権利擁護」・「成年後見制度」の拡充
- 住み替え可能な「介護付き高級高齢者マンション」の誘致
- 障害者の方のための「グループホーム」のさらなる拡充



ご意見、ご要望を聞かせてください!

メール ✉ ippo-ippo@fukakimi.net
 または電話 090-8025-4457まで

《武蔵野》を、リバーシブルシティへ!

平常時は、快適性。非常時は、安全性。

インフラ

公共施設

- 耐震化促進 ●備蓄・トイレ・災害工具の整備
- 未利用地空間の利活用 ●自治体クラウド
- 多様な電力供給のサプライチェーン

※ サプライチェーン…災害時のバックアップ体制と供給体制の複数化

→ **公共施設のBCP(事業継続計画) ICT(個人情報管理)のBCP**

マンション

- 家具転倒防止器具設置
- マンション・ビル等の耐震診断・改修
- 自主防災組織 ●近隣地域連携 ●蓄電池

→ **MLCP= Mansion Life Continuity Plan (災害時マンション生活継続計画)の推進**
 ☆「集合住宅マンション内・外コミュニティ」の育成

商業地

- 防火水槽の確保 ●防犯カメラの設置
- 避難訓練

→ **来街者の安全確保と避難場所の明確化**
 ☆「産業と生活が共生」するまち

公共交通・公共空間

- 帰宅困難者対策 ●防災広場の確保
- 日常の交通問題(例:439台/日のパークロード通過バス)
- 無線LAN基地局設置「Wi-Fi」導入
- 日頃の安全パトロール

→ **災害に強い《レジリエント—しなやかに復旧できる》まち**

コラム

ペットを守りたい! 災害時ペット対策協定締結完了!

災害時にわんちゃん、ねこちゃんのための薬剤を市外から調達するには、市との「協定ライセンス」がなければ、国の指定する第一次緊急指定道路使用も許可されません。薬剤供給のサプライチェーンの観点から、緊急に協定を結ぶことを求め、平成23年11月4日に協定締結となりました。「平成25年度地域防災計画」に、「ペット対策」として書き込まれました。



コラム

内閣府・国土交通省・復興庁主催「MLCPフォーラム」パネル登壇

国土交通省の研究会での学習を通じて、全国に先がけて「地域防災計画」に「災害時のマンション支援」を盛り込むことができました!平成25年3月31日「マンション防災と災害列島での生き方を考える」と題し、平常時と災害時のマンション生活を支援する中間支援組織「MALCA」立ち上げのフォーラムに、パネラーとして登壇しました。http://www.mlcp.jp/index.html

注目!

予告

「地域マネジメント学会」シンポジウムパネル登壇

来る平成25年6月29日(土)
 @明治大学において、「コミュニティの今」をテーマに学会シンポジウムパネラーとして登壇します。

6/29 (土)
 @明治大学

みなさまに、伏してのお願い!

いつもご声援・ご支援をありがとうございます。みなさまの心温まる応援が、私の勇気と元氣と馬力の原動力です。「武蔵野の未来」をみなさまと御一緒に創っていきたく、そんな手作り・手弁当で活動を続けています。ご協力いただけますみなさま、ご連絡を心よりお待ちしております。

- 看板・ポスター設置 ●通信配布 (20でも30でもありがたいです)
- 寄付のお願い 郵便振替口座: 00180-0-578586 「深田貴美子といっぽいっほの会」

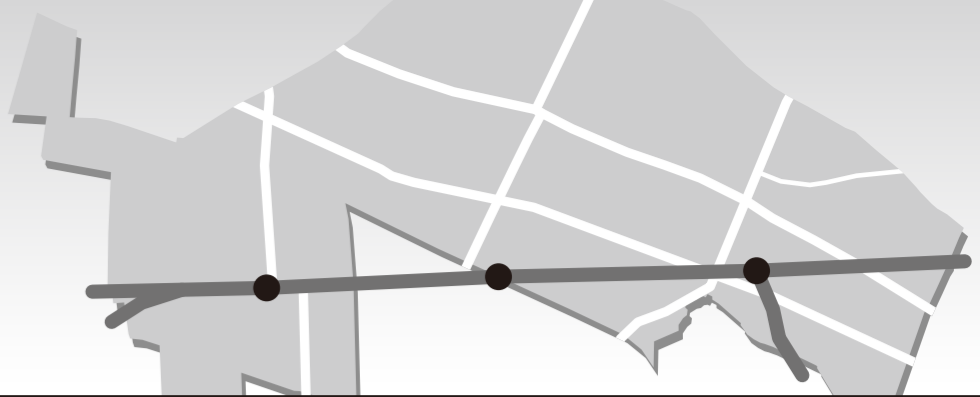


ふかだ きみこ
深田 貴美子 プロフィール

Kimiko Fukada Profile

- 1959年7月16日生まれ。実家本籍地長野県上田市。干支は亥ではなく、猪。
- 吉祥寺本町1丁目在住
- 血液型/A型
- 吉祥寺回遊歴32年
- 港区立青山中学→都立日比谷高校→東京女子大学社会学科卒
- LVMH(ルイ・ヴィトン&モエ・ヘネシー)で財務担当 育児のため退社
- 子育て支援活動の傍ら、東京女子大学大学院博士後期課程在籍 『高度情報化・分権社会における市民活動と自治』執筆中。
- 武蔵野市長期計画市民会議委員
- 吉祥寺村立雑学大学『さんか塾』コーディネーター
- 趣味/書道、観劇、舞蹈、音楽(クラシック〜jazz増尾好秋)、再現料理
- 特技/弓道2段
- 家族/夫(熊本産) 娘(広尾産)
- マイパワー・スポット/恵林寺(山梨県塩山)
- 目指すもの/ハブ空港
- 好きな言葉/一期一会

日本の未来を《武蔵野》から実現する!



都市再生 —都市の未来とイノベーション—

1 命の水の「安定供給確保」 —市民の安全を先送りしない!

- 本管耐震整備率 たったの<2.9%> ●境・大野田両浄水場施設改築不能
- 水道会計の適正化

●東京都との速やかな「一元化正式協議」の開催
※三鷹市では、平成23年に一元化完了。「都水4：地下水6」で快適な水循環ライフを実現済み。

2 まだ垂れ流しの「下水を浄化」

—市民の誇りと自治体の品格(浄化と分流と浸透の組み合わせ)—

- 汚水(うんち+おしっこ)と生活雑排水の越流(降雨1.5mm~4.5mm/時)
- 善福寺川・神田川・野川に垂れ流し回数26回
- 吉祥寺の「あの臭い」を根本的に解決

- 市民のみなさんと一緒に、「雨水浸透ます」「雨水タンク」の更なる増設
- 「雨水トレンチ」「雨水浸透道路」の普及促進
- 「雨の時には、浴槽の水は流さないでね運動」の推進

3 「低炭素都市」の実現 —これからの環境にやさしいまち

- 《吉祥寺南口再開発》は、「低炭素化促進法(エコまち法)」を活用
- EV・HVカー充電スタンドの誘致
- 商業地区耐震改修を阻む《駐輪場条例》の改定
- 商業地区の集約駐車・駐輪施設、共同集配施設の整備拡充
- 低炭素住宅認定制度による優遇税制の延長



4 「産業誘致・文化創造」の舞台づくり

—夢がかなう、躍動感ある創造発信都市へ

- 「民学産公」連携拠点(「仮称」まちづくりセンター)の創設
- ICTを活用した研究開発型・環境配慮型企業の誘致および支援
- 子育てしながら働こう! —コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス・NPO等育成支援
- 吉祥寺で成功する! —若年・女性起業者のビジネスチャンスを広げ
- 芸術・映像・アニメの集積する「都市型産業」の誘致
- 武蔵野版「井心亭(せいしんてい)」の創設

コラム

女性の視点

私たち、50歳代以上の女性が、良質で個性的な装いを楽しめる店が無くなりました。武蔵野の女性の「おしゃれ感度」はすこぶる高いのです! もっと、まちづくりに「女性の声」を!

コミュニティ創生 —私たちのあすを切り拓く—

1 「参加と協働」を《原点》から再構築

- 平成25年度予算《自治体運営の基本ルール 0円》
- 「武蔵野プレイス」年間ランニングコスト5億3千万円

- 説明責任と市民参加への武蔵野市『用語・論点・データ白書』の作成
- 「パブリックコメント条例」「パートナーシップ協定」「議会基本条例」等基本となる条例の整備

- 日常の参加と協働を担う人材の育成
- 市の情報公開を進める広報・広聴の見直し
- 「市長」のタウンミーティングではなく、「市民」のタウンミーティングへ
- ワークショップ型まちづくりコミュニティミーティングの開催
- 市の事業の見直しとアウトソーシングによる公共サービスのさらなる拡充



コラム

少子高齢社会では、ひとりひとりの暮らし方も、必要とされるニーズも多様で複雑になっていきます。行政は改革と刷新を進めながら、暮らしやすいまちをつくるために、市民のみなさんと一緒に「汗」をかかなければなりません。目指すべきは、《市民の自治の力の育成》と《職員の気づきの努力》です。そのためには、「協働型のまちづくり」には基本となる「条例」が必要です。「平成25年度施政方針と基本的な施策」で市長が執筆する「市政運営の基本的な考え」では、市民自治の基本的な骨格を支える《参加と協働》の文字が消えました。また、平成24年の組織改編では、「市民協働推進課」は「市民活動推進課」と「協働」の文字は消えました。平成25年度予算委員会では、今後の協働型まちづくりについて、「プレイスはNPO活動と育成支援。市役所市民活動推進課は、啓発・広報」との答弁。具体の展望が見えませんでした。

2 「待機児ゼロへ」と「多様な子育て支援策」への挑戦

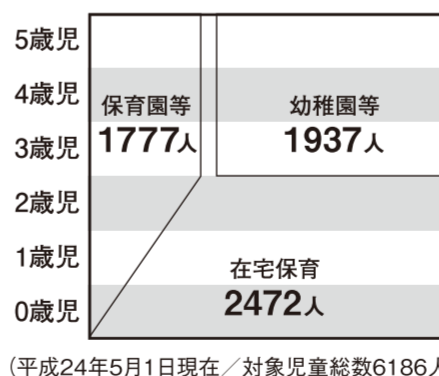
- 待機児童数 やっぱり<354名>(平成25年3月末旧定義基準)
- 「境子ども園」(平成25年4月開園予定)開園の遅延
- 男女共同参画条例策定未執行

《武蔵野で母になる・父になる》—魅力あるまちで、子どもを育てたい! どんな働き方であっても、どんな家族構成であっても、安心して暮らせるまちをつくりたい! 子育て中の閉塞感も、取り残され感も、イライラも、みんなで一緒に乗り越えよう! 子どもを真ん中に、「仕事も! 子育ても! 地域も! 自分も!」子育てするなら武蔵野で—

- 子どもの人権を尊重する「子ども憲章」の制定
- 生まれる前からの子育て家庭の応援
- 多様な働き方にこまやかに対応する「待機児ゼロ作戦」の実施
- 《保育の質》を大切に、幼児期の「保育と教育」の尊重
- 駅チカ・ビルナカ園児の「井の頭公園」等お出かけアクセスの整備

- 児童虐待・DV被害の早期発見・早期対応の徹底
- ワークライフバランスの推進から、女性センター設置と相談機能の併設
- 子育て情報サイトから始まる子どもにやさしいまちづくりと市民参加
- 発達障害児等の0歳から18歳までのトータルな発達の相談と支援

●就学前児童の在宅・通園先区分



行財政改革 —あすの武蔵野の礎を育てる—

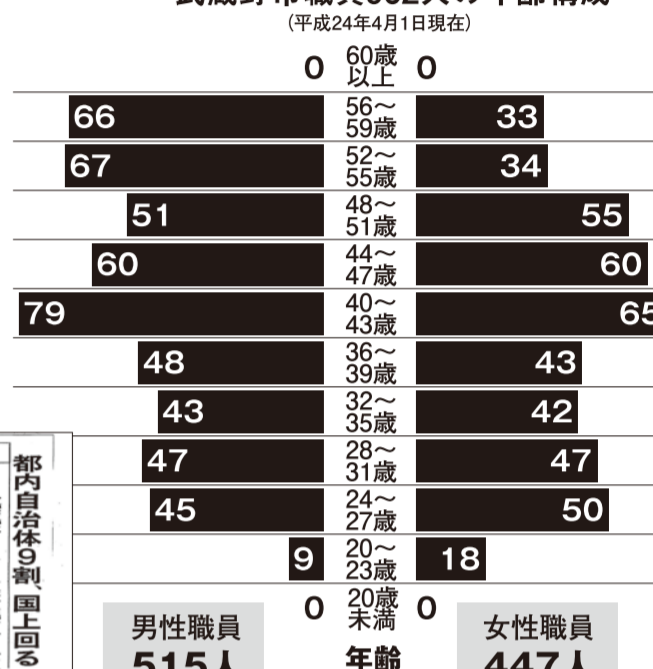
1 「スマート公務員」の育成

—さらに「篤い職業観」を持った職員の育成

「市民の困り感」を肌で感じ留める職員—
市民とともに一緒に困難に立ち向かう職員—
暮らしの目線で「まちづくり」を夢中になって考える職員—

- 15団体にもなる「財政援助出資団体」の整理統合(平成17年度11団体→平成24年度15団体)
- 退職職員の再任用の雇用条件の見直し
定年部長の役員就任の常態化
および平均給与と退職金支給の見直し
- トップクラスの《本給》の見直し
- 職員の時間外労働の適正化

武蔵野市職員962人の年齢構成



平成25年2月9日付日経新聞

2 「選択と集中」での行財政改革

- 約13,000㎡の未利用地・低利用地の再評価と活用
- 約130施設、160棟、33万㎡の公共施設の見直し
- 取得価格91億円の「三鷹北口中町駐輪場」の今後の活用
- 「1,600億円」のインフラ・都市再生投資の見込み
- 競輪11市・競艇6市事務組合の見直し
- 自治体不動産の有効活用(PRE)の推進
- 市有地の時価評価を反映した「公会計制度改革」の推進
- 「スクラップ・フォー・ビルド」の約1200事業の仕分けと見直し
- 事業評価が総覧できる『自治体のマネジメント白書』の作成
- 「システム思考」の武蔵野市の将来ビジョンの明確化

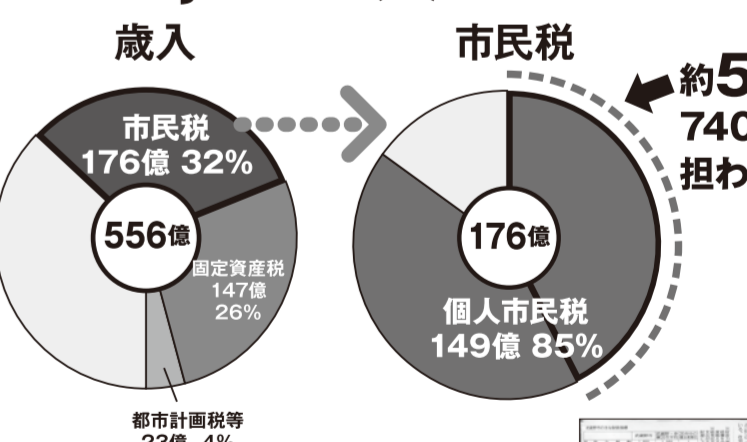
コラム

なんと!「デリバティブ」に「25億円」を運用

市は、平成19年から22年までの間に、「基金25億円」を、金融派生商品=デリバティブである「マルチ・コーポラブル定期預金」に運用していました。「権利行使期限付解約特定期預金」は、元本保証ですが、解約権利は金融機関にあります。平成22年6月議会で質疑したところ、「有利な利率条件であれば、選択していく」という回答がありました。「武蔵野市資金管理方針」に沿い、平成22年12月の満期を持って、運用を取りやめさせました。

個人市民税の約5割

納税義務者の1割= 7,408人
(平成24年度納税義務者総数71,393人)
(課税標準額700万~1000万円未満 4.8% +1000万円以上 5.5%)



「武蔵野市富裕層のみ…高齢化で税収減も」
平成20年12月5日付の読売新聞武蔵野版

「住民構造が変われば、一気に厳しくなる」という職員の方のコメントもありました。

